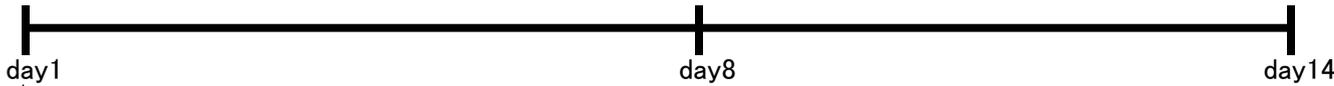


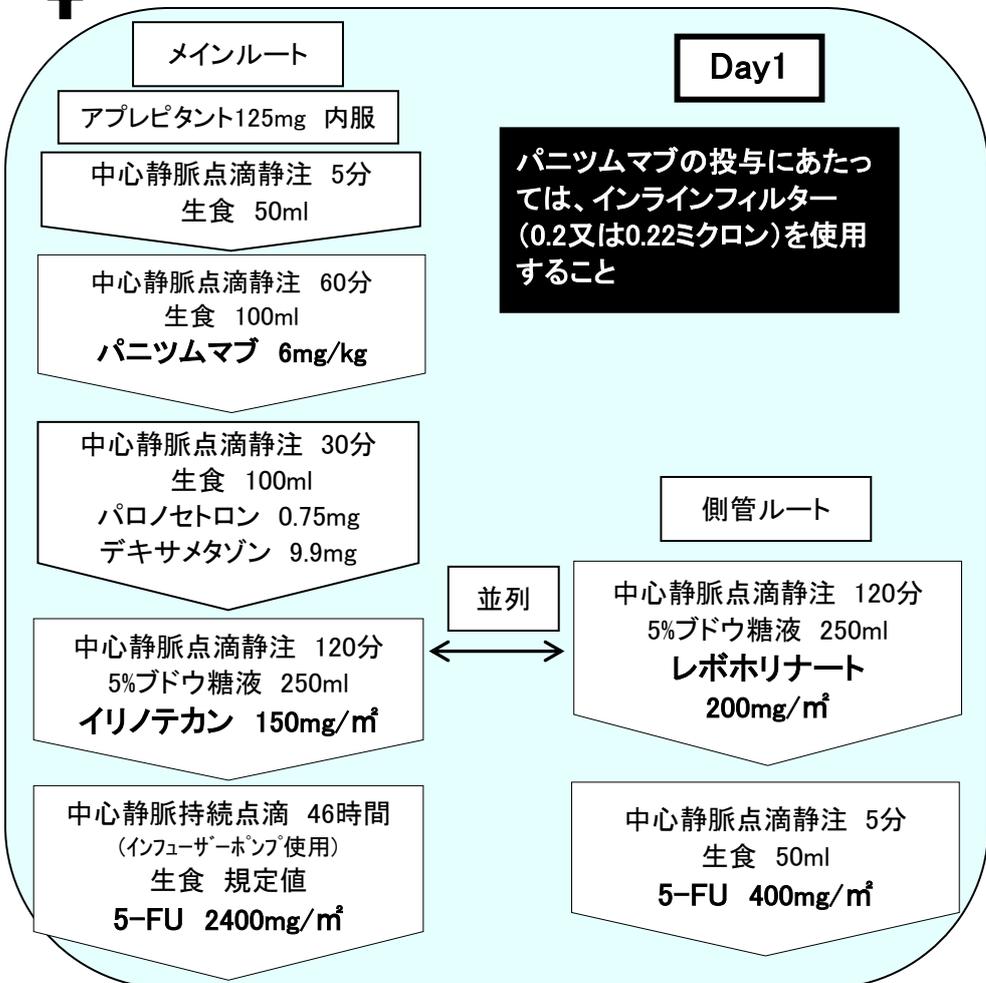
がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	プロトコール名
	結腸・直腸癌 (RAS遺伝子野生型)	パニツムマブ+FOLFIRI
投与予定	休薬を含めて1クール 14 日 施行可能な限り	



1クール14日



・パニツムマブ投与中及び投与終了後、少なくとも1時間は観察期間(バイタルサインをモニターするなど)を設けること。
・有害事象発現時の用量調節の目安あり

備考

薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	薬価最小組み合わせ	備考
パニツムマブ	6 mg/kg	#REF! mg/body	mg/body		1回投与量として1,000mgを超える場合は、日局生理食塩液で希釈し約150mLとし、90分以上かけて点滴静注すること。
レボホリナート	200 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body	内 25mg 0mg 訳 100mg 0mg	
イリノテカン	150 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body	内 40mg 0mg 訳 100mg 0mg	
5-FU (bolus)	400 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body	内 250mg 0mg 訳 1000mg 0mg	
5-FU (46時間点滴)	2400 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body	内 250mg 0mg 訳 1000mg 0mg	

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
デキサメタゾン	8mg	分2 朝食後	day2~4
アプレピタント	125mg	イリノテカン投与60分前までに内服	day1
アプレピタント	80mg	分1 朝食後	day2、3
患者の状態に合わせて下記の内服を処方することがある			
炭酸水素ナトリウム	1.5g	分3 毎食間	day1~4
酸化マグネシウム	2.0g	分3 毎食後	
ウルソデオキシコール酸	300mg		
メクロプラミド	15mg		